

市議会 6 月会議

一般質問 質問事項	発言順位	7	質問議員	吉本史宏
-----------	------	---	------	------

質問要旨(概要)

1 人口減少時代に向けた考え方について

- (1) 人口減少を前提とした自治体経営への転換をどのように位置づけ、第3次白山市総合計画や各分野の政策体系にどのように反映させていくのか。
- (2) 公共施設の統廃合・複合化・機能再編をどのような方針で進めるのか。また、「スマートシュリンク・賢く縮む」の視点を取り入れた生活圏の再編・拠点化という都市構造の再設計に対する考え方は。
- (3) 地域コミュニティの再構築に向けた支援体制と地域コミュニティ組織の統合についてどう考えているか。また、一括交付金の導入と住民主体の地域運営モデルである小規模多機能自治の導入や試行を検討する考えは。
- (4) 人口増加を目的とした施策と、住民の生活の質向上を目的とした施策をどのように整理し、地方創生の方向性を再定義していくのか、政策体系の再構築は。
- (5) 近隣自治体との連携、デジタル行政の徹底、生活圏の再編などをどのように進め、人口減少時代における持続可能な行政サービスを確保していくのか具体的な方向性は。

2 街路樹の管理について

- (1) 街路樹の老木化・腐朽の実態をどの程度把握しているのか。樹木台帳の更新状況、腐朽・空洞化・根の劣化が疑われる個体数、点検頻度など具体的な数値は。
- (2) 国のA/B/Cの点検指針に基づく優先度設定をいつまでに完了させるのか。また、市民の安全に直結する通学路や緊急輸送道路の街路樹を原則Aランクとして扱う方針をいつまでに明確に示すのか。
- (3) 全国で事故が増加する中、従来型の目視点検だけでは限界があり、白山市は新たな技術であるAI画像解析やデジタル台帳の導入など点検効率化を検討しているのか。
- (4) 安全確保と景観維持の両立には計画的更新が不可欠だが、白山市は、老木の伐採・植え替えを5年・10年単位の計画として示す考えは。
- (5) 街路樹を「危険物」ではなく「都市の生命線」として再生するための市民参加型通報システムの導入に対する考えは。
- (6) 枝が低く垂れ下がり、歩行者や自転車、さらに大型車両の通行に支障をきたしている街路樹があるがどのように管理しているのか。

質問要旨(概要)

3 空き家対策について

- (1) 空き家発生の抑制に向けた予防段階での介入をどこまで強化するのか。また国への制度改正の要望について。
- (2) 地域特性を踏まえた市独自の基準作りをどのように進めるのか。また、立入調査の強化、命令・代執行の運用方針について、現状の課題と今後の改善策について。
- (3) 空き家バンクの成約率向上のために、踏み込んだ施策が必要と考えるが、その目標と具体策について。
- (4) 福祉・法律・不動産を横断した支援体制の構築について市の考えについて。
- (5) 今後は町内会と専門家・行政が伴走する「三位一体モデル」を構築すべきと考えるが、地域力を高める仕組み作りについて市の方針について。

4 人とペットが共に暮らし、支え合うまちについて

- (1) アプリコットパークをドッグスポーツ大会の北陸の拠点として位置づけ大会誘致・後援体制を強化する考えは。
- (2) 松任グリーンパークに大型犬対応のドッグラン整備を検討すべきでは。
- (3) イベント型マナー啓発の継続支援、マナー向上施策、ペット用の水飲み場など犬連れ利用環境の整備をどのように進めるのか。
- (4) 同行避難体制の強化を進める考えは。
- (5) 高齢者等の施設でのアニマルセラピー、災害時の同行避難や高齢者の飼育継続、地域の犬の団体と連携した犬の散歩パトロール等の地域活動などをどのように進めるか。
- (6) 白山市を「犬と暮らすまち」「ドッグスポーツのまち」「ペットにやさしい防災・福祉先進都市」として育てていくことをどのように考えているか。